



# 平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月9日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 丸栄

コード番号 8245 URL <http://www.maruei.ne.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 京極 修二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 渡邊 克哉

TEL 052-264-1211

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	19,063	△2.8	110	△60.5	10	△86.5	△215	—
24年2月期第3四半期	19,621	△20.9	279	38.9	74	—	△160	—

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 △222百万円 (—%) 24年2月期第3四半期 △166百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	△1.66	—
24年2月期第3四半期	△1.76	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	47,865	20,388	42.6
24年2月期	48,196	20,611	42.8

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 20,388百万円 24年2月期 20,611百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年2月期	—	0.00	—		
25年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,300	1.0	400	△17.2	200	9.7	△180	—	△1.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	130,368,887 株	24年2月期	130,368,887 株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	485,991 株	24年2月期	480,327 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	129,886,144 株	24年2月期3Q	91,004,496 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要などを背景として、緩やかな回復基調にあったものの、依然として予断を許さない欧州債務危機や中国経済の減速の影響等を受けて、再び弱い動きとなり、先行きの不透明なまま推移することとなりました。

こうした環境下において、当社グループの主たる事業分野であります百貨店業界におきましては、宝飾品などの高額商品や、「絆消費」として関心が高いプライベートギフト商材が、堅調な動きを見せたものの、気温や天候の影響を受けて、主力のファッション商材が苦戦を強いられるなど、商況として一進一退の状況が継続することとなりました。

こうした中、当社は業績の向上に向けて、集客の増加や既存売り場とのシナジー効果の発揮を狙い、新たに丸善書店を導入するなど、地域のおお客様にご満足いただける魅力ある売場づくりに引き続き取り組み、経営全般にわたるローコスト化を一層推進すると共に、財務体質の安定化による経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は190億6千3百万円（前年同期比97.2%）となりました。利益面では、営業利益1億1千万円（前年同期比39.5%）、経常利益は1千万円（前年同期比13.5%）となりましたが、特別損失として固定資産除却損2億2千8百万円を計上いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の四半期純損失は、2億1千5百万円（前年同期は1億6千万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

#### 〔百貨店業〕

百貨店業におきましては、上層階への丸善書店の導入、新ショップの導入によるヤング・ニューキャリアフロアの鮮度の維持及び活性化、食品フロアにおける「旬彩広場」の導入など、積極的なスクラップ&ビルドに取り組んでまいりました。また「青森・岩手・宮城・福島 東北四県の物産と観光展」の新規開催など、集客力の強化と全館への波及効果による売上高の向上に努めてまいりました。

以上の結果、百貨店業の売上高は168億9千6百万円（前年同期比97.6%）となりました。利益面につきましては、徹底した経費管理と節減に努めましたが、営業損失9千2百万円（前年同期は営業利益3千万円）という結果となりました。

#### 〔不動産賃貸業〕

不動産賃貸業におきましては、長引く不動産市況の低迷の中、空室率の改善に取り組みましたが、売上高は13億5千1百万円（前年同期比92.9%）となり、営業利益は5億1千6百万円（前年同期比91.0%）となりました。

#### 〔その他〕

その他におきましては、運送業、清掃業及び百貨店店舗内において友の会事業を運営しており、売上高は8億1千5百万円（前年同期比95.8%）となりましたが、営業損失1千8百万円（前年同期は営業損失1千万円）という結果となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億3千1百万円減少し、478億6千5百万円となりました。これは流動資産が3億1百万円増加し、固定資産が6億3千8百万円減少したことによります。流動資産の増加については、受取手形及び売掛金が2億2千2百万円増加したことなどにより、固定資産の減少については、減価償却費等により有形固定資産が4億4千1百万円減少したことなどによります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億8百万円減少し、274億7千6百万円となりました。これは流動負債が7億3千8百万円減少し、固定負債が6億3千万円増加したことによります。流動負債の減少については、短期借入金が13億8千万円減少したことなどによります。固定負債の増加については、長期借入金が4億9千5百万円増加したことなどによります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億2千2百万円減少し、203億8千8百万円となりました。これは主に四半期純損失2億1千5百万円を計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想に関しましては、平成24年11月30日に公表しました「特別損失の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,358	1,463
受取手形及び売掛金	595	817
商品	528	442
その他	930	988
貸倒引当金	△147	△146
流動資産合計	3,264	3,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,472	8,980
土地	30,433	30,433
その他(純額)	217	267
有形固定資産合計	40,123	39,681
無形固定資産		
のれん	1,425	1,363
その他	80	65
無形固定資産合計	1,505	1,428
投資その他の資産		
投資有価証券	2,493	2,410
その他	788	751
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,281	3,162
固定資産合計	44,910	44,272
繰延資産	21	26
資産合計	48,196	47,865
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,866	2,214
短期借入金	2,400	1,020
1年内返済予定の長期借入金	3,658	3,822
1年内償還予定の社債	475	470
未使用商品券等引当金	351	327
その他の引当金	47	90
その他	2,849	2,966
流動負債合計	11,649	10,911
固定負債		
社債	705	855
長期借入金	7,874	8,370
再評価に係る繰延税金負債	3,998	3,998
退職給付引当金	305	315
その他	3,051	3,026
固定負債合計	15,935	16,565
負債合計	27,585	27,476

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,937	9,937
資本剰余金	2,290	2,290
利益剰余金	1,148	933
自己株式	△107	△107
株主資本合計	13,269	13,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	5
土地再評価差額金	7,328	7,328
その他の包括利益累計額合計	7,341	7,334
純資産合計	20,611	20,388
負債純資産合計	48,196	47,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	19,621	19,063
売上原価	15,528	15,197
売上総利益	4,092	3,866
販売費及び一般管理費	3,812	3,756
営業利益	279	110
営業外収益		
受取利息	12	10
持分法による投資利益	31	43
売場改装協力金	95	103
その他	36	25
営業外収益合計	176	183
営業外費用		
支払利息	206	198
その他	175	86
営業外費用合計	382	284
経常利益	74	10
特別利益		
投資有価証券売却益	6	11
貸倒引当金戻入額	10	—
特別利益合計	16	11
特別損失		
固定資産除却損	75	228
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	158	—
その他	6	—
特別損失合計	239	228
税金等調整前四半期純損失（△）	△149	△206
法人税等	10	8
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△160	△215
四半期純損失（△）	△160	△215



四半期連結包括利益計算書  
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年11月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△160	△215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△5	△7
四半期包括利益	△166	△222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△166	△222
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,315	1,455	18,770	851	19,621	—	19,621
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	118	122	532	655	△655	—
計	17,318	1,573	18,892	1,384	20,277	△655	19,621
セグメント利益又は損失(△)	30	567	597	△10	586	△306	279

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、友の会事業及び清掃業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△306百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△311百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,896	1,351	18,248	815	19,063	—	19,063
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	123	126	632	759	△759	—
計	16,900	1,474	18,375	1,448	19,823	△759	19,063
セグメント利益又は損失(△)	△92	516	424	△18	405	△295	110

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△295百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△298百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。